

2024年度 活動予定

必修プログラム

基礎講座

※「基礎講座」に限り、どなたでも受講していただけます。(1回限りの受講可)

社会的課題を見つめる視点として、今年度の基礎講座は、AOPに加えて、ジェンダー不平等にフォーカスします。また、気鋭の研究者が最先端の議論を紹介し、持続可能性をキーワードにアートマネジメントを学んでいきます。

定員 各回40名 会場 大阪公立大学梅田サテライト (大阪駅前第2ビル6階)

社会的課題を見つめる

持続可能性を考えるアートマネジメント

- 「アートとジェンダー ～現場・データ・理論から～」**
日時 7月10日(水) 19:00～21:00
講師 小田原のどか (彫刻家、評論家)
- 「芸術をめぐる労働・ジェンダー・ハラスメント ～自身のプロジェクトをみつめてみる～」**
日時 7月17日(水) 19:00～21:00
講師 竹田恵子 (東京外国語大学世界言語社会教育センター講師、EGSA JAPAN 代表)
- AOPワークショップ
「誰かもやもやをうけとる ～AOPで“これまで”をふりかえる～」**
日時 7月24日(水) 19:00～21:00
講師 「アート/ケア/文化政策」研究会
風間勇助 (奈良県立大学地域創造学部講師)
南田明美 (静岡文化芸術大学文化政策学部講師)
齋藤梨津子 (早稲田大学大学院博士課程)
大蔵真由美 (松本大学教育学部准教授)
竹丸草子 (アーツカウンシル東京社会共生政策担当係長)

- 「Outside/Inside アプローチの課題 ～持続可能性へのみち～」**
日時 7月31日(水) 19:00～21:00
講師 中川眞 (大阪公立大学都市科学・防災研究センター特任教授)
- 「企画・実施 ～地域に根差す新たなアートの胎動～」**
日時 8月7日(水) 19:00～21:00
講師 吉田隆之 (大阪公立大学大学院都市経営研究科准教授)
- 「文化事業の強みを生かす評価」**
日時 8月21日(水) 19:00～21:00
講師 中村美亜 (九州大学大学院芸術工学研究院教授)
- 「アーカイヴ ～プロジェクトのためのアーカイヴ実践～」**
日時 8月28日(水) 19:00～21:00
講師 山口祥平 (大分県立芸術文化短期大学准教授)



photo : 寺岡海

選択プログラム

実践・場づくり

受講生は3つの現場から1つを選択し、プロジェクトを実施していきます。1年目は、プロフェッショナルからマネジメントの勤所や、講座で学んだプロジェクトのアウトカム等を体感しました。2年目は、受講生がプロとともに企画を協働し、現場実践のスキルを習得していきます。

- 「公害から環境共生 ～『困難な過去』を見つめていくためのアートプログラム～」**
公益財団法人公害地域再生センター・あおぞら財団
かつては公害問題に揺れ、現在は環境共生を目指している西淀川地域を舞台に、アートプロジェクトを展開します。このプロジェクトでは、アーティストやコーディネーターと共に企画を考案し、地域や住民と関わりを持ちながら、作品の制作を行います。
開催時期 7月～11月 (全10コマ)
会場 大阪市西淀川区
コーディネーター 松岡咲子 (アートコーディネーター、女優)
アーティスト 村田のぞみ (アーティスト)
- 「再チャレンジと表現 ～釜ヶ崎における協働の自立支援表現プログラム～」**
NPO 法人ココローム・釜ヶ崎芸術大学
今回も西成区にあるシェルターに集まる人々と哲学対話や書などの活動を行います。また、シェルターの利用者やスタッフ、アーティストと共に働き、いっしょに味わうアートとしてのうどん作りに取り組みます。
開催時期 10月～1月 (全10コマ)
会場 あいりん臨時夜間緊急避難所 (シェルター) (大阪西成区)
コーディネーター 上田假奈代 (詩人、NPO 法人ココローム代表理事)
アーティスト 永井玲衣 (哲学者)
華雪 (書、篆刻)
野村誠 (作曲家) (予定)

ゼミナール

各分野の第一線で活躍する大学教員・研究者らが主宰し、レクチャー・リサーチなどを組み合わせた少人数制のゼミを実施します。受講生は4つのゼミのうち、1つを選択し、基礎講座で得た知識の深化を図り、講座から実践への橋渡しの役割を担います。

定員 各コース8名 *定員を超える場合は調整をお願いする場合があります。

社会的課題を見つめる

持続可能性を考えるアートマネジメント

- 「環境共生とまちづくり」**
西淀川公害について、より深く多角的な視点で学んでいきます。講義に加え、患者による語り部会や、それぞれの立場から公害問題に触れるロールプレイ、フィールドワークなどを予定しています。
*本ゼミナールを受講される方は、西淀川区で行う「実践・場づくり」への参加を推奨します。
日時 ①② 8月3日(土)
③④ 8月18日(日)
各日13:00～17:00
会場 大阪市西淀川区
講師 除本理史 (大阪公立大学大学院経営学研究科グローバルビジネス専攻教授)
藤江徹 (公益財団法人公害地域再生センター・あおぞら財団事務局長)

- 「性の多様性」**
LGBTQ+ はこれまで差別や偏見に晒されることが多く、社会構造の「すきま」の中で非可視化されてきました。マイクロアグレッションやマジョリティの特権について学び、私たち一人ひとりが自分ごととして見つめる機会を持ち、誰もが安心できる社会や居場所について考えます。
日時 ① 9月26日(木) 19:00～21:00
②③④ 10月5日(土)・6日(日) 13:30～16:30
会場 大阪公立大学梅田サテライト (9/26)
大阪公立大学 I-site なんば (10/5,6)
講師 長村さと子 (一般社団法人こどもまっぶ代表理事)
茂田まみこ (一般社団法人こどもまっぶスタッフ)
新ヶ江章友 (大阪公立大学大学院都市経営研究科、人権問題研究センター教授)

- 「地域共生と財源論」**
アートNPOや文化芸術活動を運営する上で避けて通れない「財源」について考えていきます。レクチャーでは、日本の文化政策における補助金の仕組みや海外の事例を交えた解説を行います。また、アートNPOの立場から補助金の活用方法を検討するワークショップも実施します。これらを通じて、「財源」について深く理解していきます。
日時 ① 9月4日(水) ② 9月11日(水)
③ 9月18日(水) ④ 9月25日(水)
各日19:00～21:00
会場 大阪公立大学梅田サテライト
NPO 法人ココローム・釜ヶ崎芸術大学 (18日のみ)
講師 水上啓吾 (大阪公立大学大学院都市経営研究科准教授)
上田假奈代 (詩人、NPO 法人ココローム代表理事)

- 「AOP ～いつも抱えている『もやもや』をベースに声をあげる練習をしてみる～」**
アートマネジメントの現場や仕事で抱えた「もやもや」について対話を深めながら、それらをしようがないと飲み込むのではなく、AOPをヒントにして、声をあげる練習をします。その先に、アートNPOや文化芸術活動の持続可能性について考えます。
日時 ① 9月20日(金) ② 9月27日(金)
③ 10月11日(金) ④ 10月18日(金)
各日19:00～21:00
会場 大阪公立大学梅田サテライト
講師 「アート/ケア/文化政策」研究会
中川眞 (大阪公立大学都市科学・防災研究センター特任教授)



photo : 寺岡海

通期プログラム

EJ Café

受講者同士のコミュニケーションや意見・情報交換を目的としたカフェ。活動の中で悩みや疑問など、もやもやしたものが積み重なっていくかもしれません。「EJ Café」は、互いに語り合うことによって悩みを共有したり、活動の公平(平等)や正義を再確認する場としていきます。

- 日時/会場 ① 7月7日(日) 14:00～17:00
会場：山王集会所
② 9月6日(金) 19:00～21:00
会場：大阪公立大学梅田サテライト
③ 11月上旬 (「ゼミナール」終了時期)
④ 1月中旬 (「実践」後半時期)
⑤ 2月下旬 (全プログラム終了時期)
会場：11月以降は調整中

ファシリテーター
久保田テツ (NPO法人記録と表現とメディアのための組織代表理事)
服部俊子 (大阪公立大学大学院都市経営研究科教授)

オリエンテーション

プログラム開始前に実施する1回目の「EJ Café」は、今年度のプログラム内容の詳細をお伝えするとともに、昨年度のプログラム紹介、受講生やスタッフの自己紹介を行います。

日時 7月7日(日) 14:00～17:00
会場 アクセス
山王集会所 (大阪市西成区山王2-10-24)
大阪メトロ 御堂筋線/堺筋線「動物園前」駅
②番出口より徒歩5分

評価

本プログラムでは、事業改善と説明責任の観点から、評価に力点を置き、かつ講座として取り入れる点に大きな特徴があります。受講生は、参加型評価の主体として参加し、評価コーディネーターや文化事業評価の研究者から、最新の知見を学ぶことができます。

コーディネーター
熊谷薫 (合同会社 ARTLOGY 代表、東海大学広報メディア学科講師)
石幡愛 (アートマネージャー、リサーチャー)

ブックレット

人材育成の成果を把握するため、写真・動画・資料等をアーカイブで収集し、受講生の気づき、もやもや、事業の紆余曲折を、評価で収集、分析します。これらのプロセスは、編集作業と連なり、完成した「ブックレット」が、ソーシャルアートの新たな視座を提示することを目指します。

コーディネーター 調整中

アーカイブ

「何のためにつくるのか」を明確化することが、アーカイブの肝要です。本プログラムでは、人材育成の成果を把握し、検証することを主たる目的とします。アーカイブ指針を策定し、記録作業に関わるなかで、資料保存の勤所やポイントを学び、今後ニーズが高まるアーキビストを育成していきます。

コーディネーター 金崎亮太 (「EJ ART」プログラムコーディネーター)
アドバイザー 山口祥平 (大分県立芸術文化短期大学准教授)

「評価」「ブックレット」「アーカイブ」の詳細については、随時お知らせします。